



20/21年度の期末在庫、大豆は予想を上回る、コーンは予想を下回る

◆米農務省需給報告

○米国大豆

	※※2020-2021年度※※		※※2019-2020年度※※	
	<今月予想>	<前回予想>	<今月予想>	<前回予想>
期初在庫	615	620	909	909
生産	4,425	4,135	3,552	3,552
輸入	15	15	15	15
・供給合計	5,055	4,770	4,476	4,476
圧砕	2,180	2,160	2,160	2,155
輸出	2,125	2,050	1,650	16,500
種用	100	100	97	97
その他	40	35	-46	-45
・需要合計	4,445	4,345	3,862	3,857
期末在庫	610	425	615	620
在庫率	13.7%	9.8%	15.9%	16.1%
作付面積	83.8	83.8	76.1	76.1
収穫面積	83	83	75	75
イールド	53.3	49.8	47.4	47.4

○米国トウモロコシ

	※※2020-2021年度※※		※※2019-2020年度※※	
	<今月予想>	<前回予想>	<今月予想>	<前回予想>
期初在庫	2,228	2,248	2,221	2,221
生産	15,278	15,000	13,617	13,617
輸入	25	25	45	45
・供給合計	17,531	17,273	15,883	15,883
飼料用	5,925	5,850	5,600	5,600
食品・工業用等	6,625	6,625	6,260	6,260
内エタノール	5,200	5,200	4,850	4,850
・国内消費合計	12,550	12,475	11,860	11,860
輸出	2,225	2,150	1,795	1,775
・需要合計	14,775	14,625	13,655	13,635
期末在庫	2,756	2,648	2,228	2,248
在庫率	18.7%	18.1%	16.3%	16.5%
作付面積	92	92	89.7	89.7
収穫面積	84	84	81.3	81.3
イールド	181.8	178.5	167.4	167.4

(単位:100万ブッシェル、面積:100万エーカー、イールド:エーカー当たりブッシェル)

○20-21年度の期末在庫の事前予想平均値 (単位:100万ブッシェル)

大豆	524
トウモロコシ	2800

第一商品株式会社 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町9番1号 神泉プレイスビル フューチャーズ・24

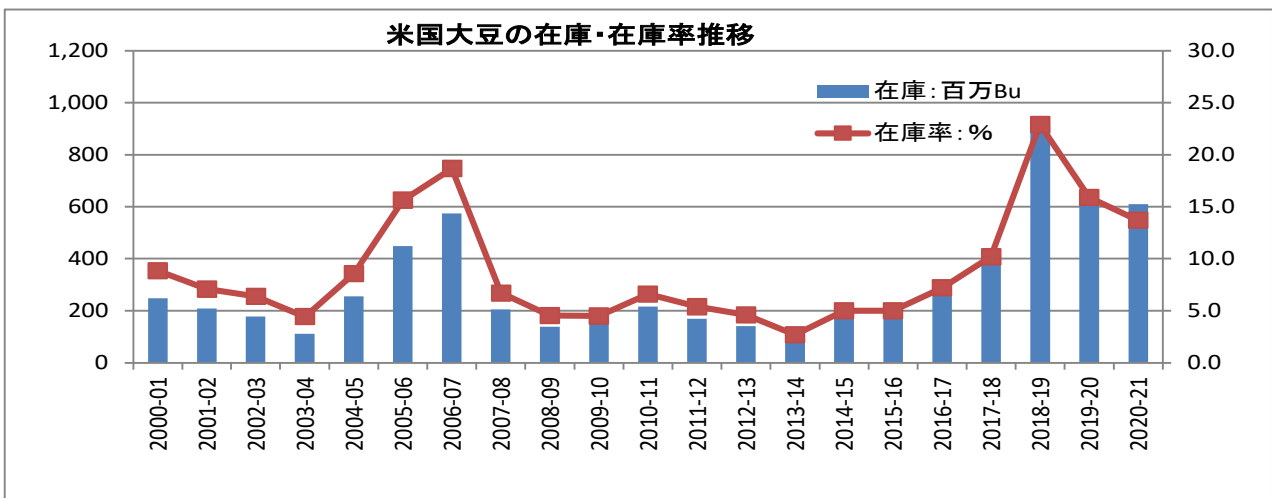
このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので投資勧誘を意図するものではありません。投資の最終的な決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い致します。レポートに記載の内容等は作成時点のものであり、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。商品先物取引業者 日本商品先物取引協会会員 当社お客様相談窓口 (東京・本社) 0120-770-266、日本商品先物取引協会相談センター東京本部 03-3664-6243。

8月12日に米農務省から発表された需給報告では、2020-21年度の米国産大豆の期末在庫が事前予想を上回る一方、米国トウモロコシの期末在庫が事前予想を下回った。12日のシカゴ市場では、大豆・トウモロコシともに上昇。ともに大規模な収穫予想が示されたが、事前の予想を確認する内容だったことで、発表後はショートカバーが先行した。

○米国大豆

2020-21年度の期末在庫は、前月比1億8500万ブッシェル増の6億1000万ブッシェル。事前予想の5億2400万ブッシェルを上回った。

供給側は、単収を引き上げたことで、生産高を2億9000万ブッシェル上方修正。期初在庫は500万ブッシェル引き下げた。需要側は、圧砕を2000万ブッシェル、輸出を7500万ブッシェル、その他を500万ブッシェルそれぞれ上方修正。期末在庫率は13.7%で前月の9.8%から上昇した。



○米国トウモロコシ

2020-21年度の期末在庫は、前月比1億0800万ブッシェル増の27億5600万ブッシェル。事前予想の28億ブッシェルを下回った。

供給側では、単収を引き上げたことで、生産高を2億7800万ブッシェル上方修正。期初在庫は2000万ブッシェル引き下げた。なお、生産高は過去最大規模となる見通し。需要側では、飼料用と輸出をそれぞれ7500万ブッシェル上方修正。期末在庫率は18.7%で前月の18.1%から上昇した。

